

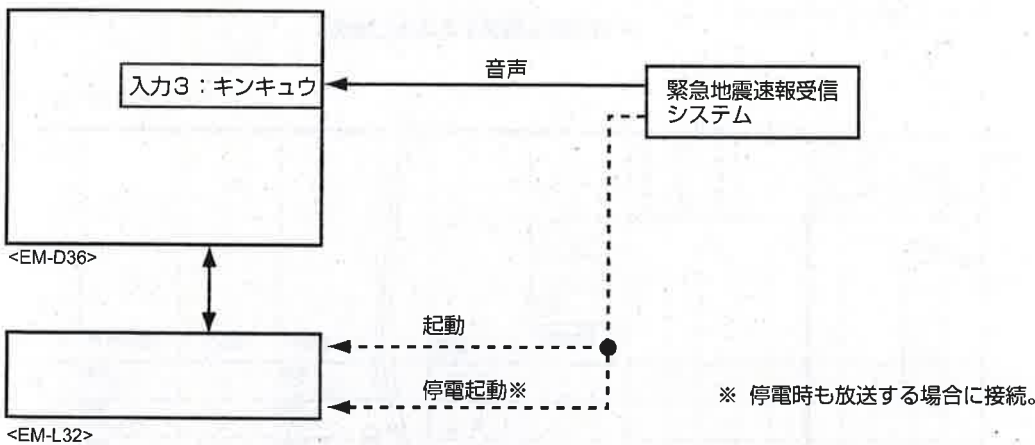
9-1. 緊急優先放送を使用するシステムについて

- 緊急地震速報などの速報性を重視する放送で、起動機器の音源を利用する場合は、音声入力端子を入力 3 など(通常使用するメッセージ、BGM用と別の端子)に設定してください。また、音源にPA-Dシリーズを使用する場合は、下記のように接続・設定を行なってください。
 - ・音源ユニットは通常使用するメッセージ、BGM用と別のユニットとする
 - ・接続形態=基本接続
 - ・音声入力端子=入力3など(通常使用するメッセージ、BGM用と別の端子)
- 上記以外の緊急優先放送時は、84ページの接続例のように、PA-D連動接続を使用した制御が可能です。この場合も下記のように接続・設定を行なってください。
 - ・音源ユニットは通常使用するメッセージ、BGM用と別のユニットとする
 - ・接続形態=PA-D連動接続
 - ・音声入力端子=入力3など(通常使用するメッセージ、BGM用と別の端子)
- 同じ音源を使用した場合、緊急優先放送の前後に(またはミックスされて)メッセージやBGMが放送される場合があります。
- 多元システムの場合でも、緊急優先放送の音源はEM-D36の入力端子に接続します。
- 以下の推奨接続例のシステムでは、いずれも起動から2秒(停電時は3.5秒)以内に放送を開始することができます。ただし、これはEM-D300システム単独の起動時間で、使用する音源装置(PA-Dシリーズなど)、起動をかける機器、システムによって変化します。放送内容によっては起動時間が重要となる場合がありますので、設置工事後に必ずシステム全体の動作を確認してください。

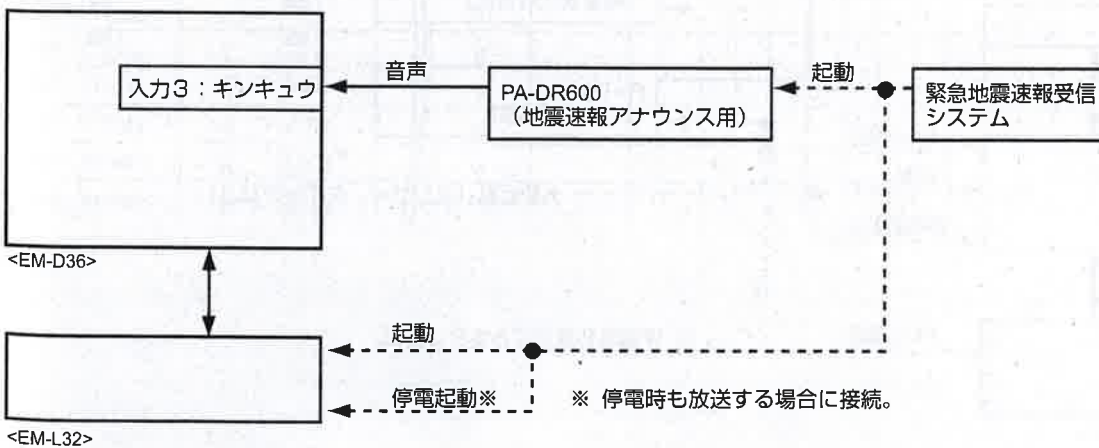
9

■ 緊急地震速報装置の推奨接続例

<起動機器の音源を利用>



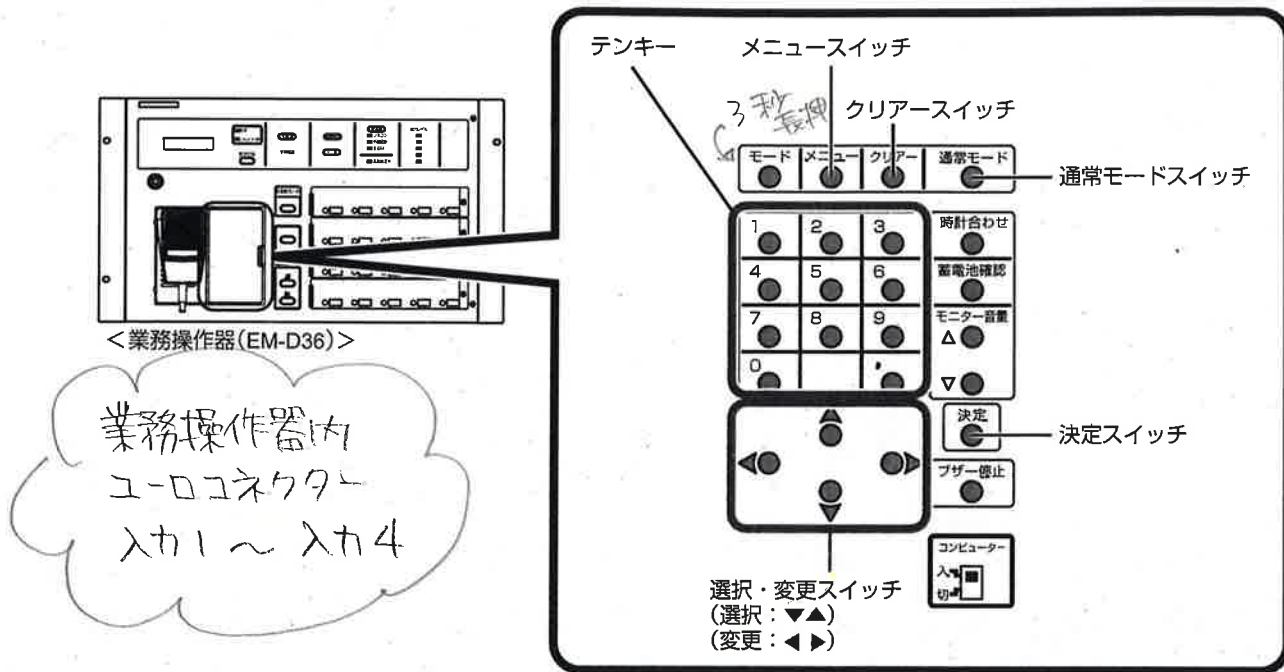
<音源にPA-Dシリーズを利用>



15. 環境設定

15-4. 音声入力端子の設定

放送機器(放送グループ)[報時チャイム、電話ページング、メッセージなど]に対して、使用する放送機器を接続した音声入力端子(入力1~4)を割り当てます。



1. 環境設定画面を表示する。

139 ページの操作を行い、『1-1. カンキョウセツテイ』を選択します。

2. 放送機器選択画面を表示する。

- ▼▲ スイッチで『1-1-3. ニュウリョクタンシ』を選択して決定スイッチを押すと、「放送機器選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1. システムセツテイ』画面に戻ります。

1-1.カンキョウセツテイ
1-1-3.ニュウリョクタンシ

<環境設定画面>

ニュウリョクタンシ
センタク:ミキサー

<放送機器選択画面>

3. 放送機器を選択する。

- ▼▲ スイッチで放送機器を選択します。
- 決定スイッチを押すと、「入力端子選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで『1-1. カンキョウセツテイ』画面に戻ります。

ニュウリョクタンシ
センタク:ミキサー

<放送機器選択画面>

放送機器 (放送グループ)	接続する機器
『ミキサー』	ミキサーユニット(EM-M102) (業務ブロック/一斉放送)
『キンキュウユウセン』	緊急優先放送機器 デジタル音源(PA-D)シリーズ (緊急優先ブロック/緊急優先一斉/ 起動入力)
『ページング』	電話ページングトランク (起動入力)
『カクチョウユニット』	パソコンの音声など (拡張ユニットリモコン)
『メッセージ』	デジタル音源(PA-D)シリーズ (メッセージブロック/起動入力)
『アナウンスユニット』	PA-DR600 など (起動入力)
『ホウジチャイム』	PA-DT600 など (起動入力)

メモ

- 多元放送システムの場合、『ミキサー』と『キンキュウユウセン』以外はマトリックスユニットの入力を使用するため、設定不要です。

4. 入力端子を選択する。

- ◀ スイッチで、放送機器ごとに入力端子を選択します。
- 決定スイッチを押すと、設定が確定して「放送機器選択」画面に戻ります。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「1-1. カンキョウセッテイ」画面に戻ります。

ミキサー
センタク: 1/2/3/ナシ

<入力端子選択画面>

選択肢

- ミキサー : 1、2、3、ナシ (初期値:3)
キンキュウユウセン : 1、2、3、4、ナシ (初期値:3)
ページング : 1、2、3、ナシ (初期値:2)
カクチョウユニット : 1、2、3、ナシ (初期値:ナシ)
メッセージ : 1、2、3、4、ナシ (初期値:3)
アナウンスユニット : 1、2、3、4、ナシ (初期値:ナシ)
ハウジチャイム : 1、2、3、ナシ (初期値:1)

15-5. デジタル音源(PA-D)シリーズの設定

EM-D300のシステムからデジタル音源(PA-D)シリーズに起動をかけ、連動させて放送する場合、デジタル音源(PA-D)シリーズの台数と制御モードを設定します。

1. 環境設定画面を表示する。

139 ページの操作を行い、「1-1. カンキョウセッテイ」を選択します。

2. PA-D 接続台数画面を表示する。

- ▼▲スイッチで「1-1-4.PA-Dセッテイ」を選択して決定スイッチを押すと、「制御モード選択」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「1. システムセッテイ」画面に戻ります。

1-1.カンキョウセッテイ
1-1-4.PA-Dセッテイ

<環境設定画面>



PA-Dセツゾク
ガシ/ダイレクト/バイナリ

<制御モード選択画面>

3. 制御モードを選択する。

- ◀ スイッチで、接続する機種によって制御モードを選択します。
- 『ダイレクト』または『バイナリ』を選択して決定スイッチを押すと、制御モードを確定して「PA-D 接続台数」画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「PA-D 接続台数」画面に戻ります。
『ナシ』を選択して決定スイッチを押した場合も「PA-D 接続台数」画面に戻ります。

15.

PA-Dセツゾク
ガシ/ダイレクト/バイナリ

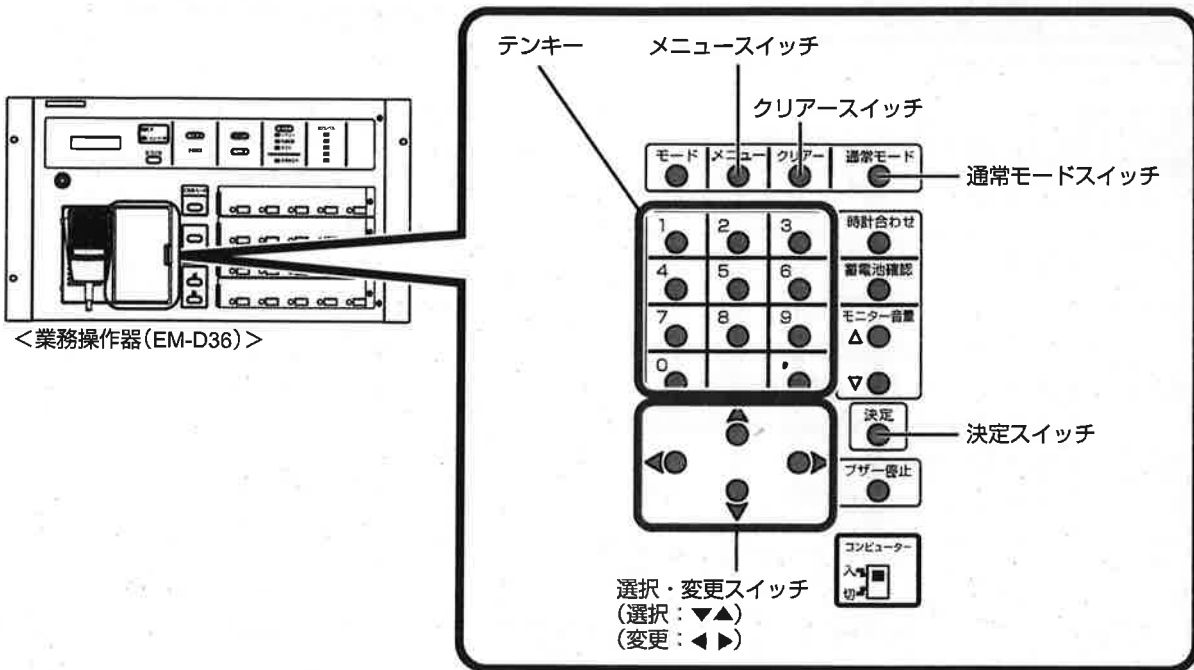
<制御モード選択画面>

選択肢

- 「ナシ」 : 接続しない場合
「ダイレクト」 : PA-DA600 を接続する場合
「バイナリ」 : PA-DA300、PA-DR600 を接続する場合

次のページへつづく...

15-5. デジタル音源(PA-D)シリーズの設定(つづき)



4. 接続台数を選択する。

- ▼▲スイッチで接続台数を選択します。
- 『1』～『4』を選択して決定スイッチを押すと、『1-1. カンキョウセツテイ』画面が表示されます。
- メニュースイッチまたは通常モード設定スイッチで「制御モード選択」画面に戻ります。

PA-Dセツゾク
ダイスウ: 1

< PA-D 接続台数画面 >

選択肢: 『1』～『4』

※ クリアスイッチを押すと、『1』になります。

メモ

- EM-D36+EM-L32 の組み合わせでは 1 台まで、入出力拡張用 EM-L92 を接続した場合、4 台(ダイレクトモードでは 3 台)まで接続できます。